ひがしやまあいじえん　えんだより

STEP!

Living together. Growing up together. Caring for children.

2020

5 May

column

あいじえんコラム　2020.5

入園式から１ヶ月が経とうとしています。新型コロナウイルス感染症拡大が止まることを知らない中、社会的にも様々な所で影響が出ています。４月７日に緊急事態宣言が発令されてから、７つの都道府県において知事から自粛の要請が出ました。それに準じ、各地で認定こども園・保育所・幼稚園でも登園自粛要請。みやま市においても 10 日付けで市内の認定こども園・保育所に自粛要請と緊迫した状況が続いています。この状況がいつまで続くか全く分からない中、約一か月。当園においても行事を自粛しながら保育活動を強いられてきました。感染症拡大防止策としてマスク着用、手洗い消毒、子どもたちが触れる場所・遊具・玩具等の消毒等を徹底し、所謂「3 密」を避けて過ごしてきました。

自粛要請が出る前の４月当初はとても賑やかな毎日でした。新しい部屋に新しい先生、新しい友達と、新しいことが目白押しの４月です。在園児の子たちも新しい１年の始まりと新しいクラスにどことなく落ち着かない様子。そして、もちろん新入園の子たちは全てが初めての環境の中で泣いたり固まってしまったりと大忙し。特にもみじぐみのみんなは昨年までと違って、室内での環境がガラッと変わりました。保育室にはたくさんのおもちゃや教材、絵本、造形道具を用意し、好きなときに、好きなものを選んで、好きなだけ遊べる環境を整えました。中でも LaQ が大ブーム。以前からあったおもちゃですが、昨年度末にパーツの量を増やしたことで、作れる量も質も各段に上がりました。それに応えてくれるかのように子どもたちがハマりにハマっています。以前までは、作った作品は片づける際に全て直すというのが当たり前でしたが、今年から残しておきたい作品は自分が納得するまで残しておいていいことにして、作品のための棚も用意しました。毎日次々に違うものが出来上がっていて、見るだけで感心させられるものばかりです。

例年ならば、そんな状況も月半ばを過ぎたころには落ち着きを見せ、ほぼ安定して友達との関わりも増えてきます。ひとり遊びや並行遊びが多い小さい子たちも生活だけでなく遊ぶ時間を楽しむことができるようになってきます。しかし、今年は 10 日に自粛要請が出て、状況が変わりました。それでも、内でも外でも子どもたちにとって思いっきり遊べる環境を整えてあげること。これだけはこども園としての努めであると思っています。登園禁止要請でもない限りこれからも、子どもたち一人ひとりのペースで、自分が最も落ち着いて過ごすことができる環境を整えていってあげたいところです。

子どもの遊びは、その発達段階によって順を追って変わっていきます。特に２歳までは、平行遊び（上に記していますが）といって、一見一緒に遊んでいるように見えて実は関わりはあまりなく、同じ場所で同じようなことをして個々で遊んでいる段階があります。それが、自他ともに生活する中で、少しずつお互いを認め合い、様々な物事を共有する中で、あそびに変化が出てくるのです。よく、友達のおもちゃを取り上げたり、貸してほしいといわれても頑に拒否する場面があります。全く同じおもちゃであっても、固執したりします。実はこの行動も子どもにとって大事な成長のプロセスです。子どもはまだ自分の欲求を模索している最中です。その子のことが嫌いなわけではなく、いじわるするつもりもなく、自分が一番おもしろいことは何かということが大切な時期なのです。自分のしたいことができる時間はもっとも子どもの欲求が表れます。それが少しずつ「貸して」「いいよ」と許容が出来るようになります。言葉が出てこない時は、かみつきやひっかきなど違う表現で意思表示をしますが、これも発達段階の一つ。子どもたちの行動・自己表現は、その時その時に何故そうしたのかという背景や理由があります。それを一つ一つ汲み取ってあげることも、大切なことです。自我が未完成な子どものうちは、他者を知るより自分を知ることが先です。それができてから、他を理解できたり許容できるようになります。

Information

尿検査

13 日に尿検査の容器を配布します。
14 日と 15 日が回収日となっていますので、朝の尿を採って持たせて下さい。

園外保育

毎年５月に清水山大観峰を目指し、園外保育に出かけていましたが、今年は見送ります。緊急事態宣言及び登園自粛要請が解け、この事態が落ち着いてから出来ればと思います。

花まつり

８日は花まつりを行います。
花まつりはお釈迦さまの誕生をお祝いする仏事です。みんなで花御堂をお飾りして、お釈迦さまに甘茶を注ぎ、お参りをして、歌を歌ったり、お話しを聞いて、「いのち」の大切さに触れる一日を過ごしたいと思います。
花御堂をお飾りしますので、お花があるところは持たせていただくと助かります。

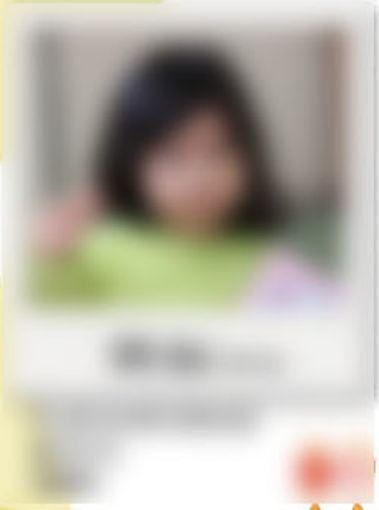
ファミリーデー

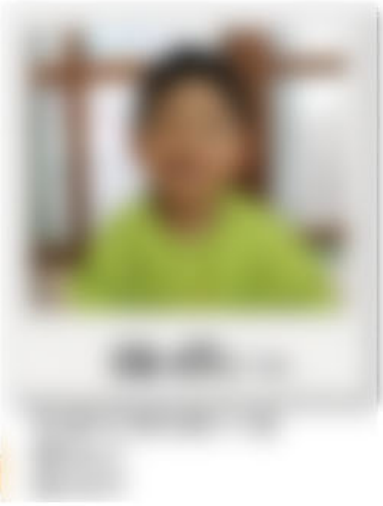
月末に家族へ日ごろの感謝を込めて、子どもたちからプレゼントを贈りますので、お楽しみに！

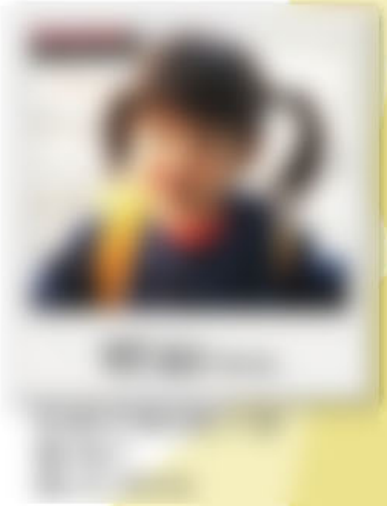
Birthday

たんじょうびおめでとう!!

①生年月日
②好きな食べ物
③好きなあそび







紹介室より

感染症に負けない、からだ作り

感染症予防には一人ひとりの心がけが大切です。

○規則正しい生活

日頃からバランスの良い食事と十分な休息は免疫力をアップさせます。

○食事

免疫力を下げない食事には、たんぱく質を多く含む食品を使うとよいといわれています。
たんぱく質は、炭水化物や脂質と共にエネルギーをつくる栄養素の１つです。
筋肉、臓器、皮膚など身体を構成する成分であり、酵素や抗体など免疫に関わる成分としても重要です。

肉類・魚介類・卵・豆腐など

善玉菌を増やす食品を取り入れよう！！

善玉菌には、体に悪影響を悪玉菌が増えるのを抑え、腸の運動を活発にし、食中毒菌や病原菌による感染を予防し、腸内の善玉菌の割合を増やします。善玉菌を多く含む食品には、

ヨーグルト・乳酸菌飲料・発酵食品

善玉菌を増やす作用をする食品

野菜・果物・豆類・ごぼう・玉ねぎなど

event

日 sun	月 mon	火 tue	水 wed	木 thu	金 fri	土 sat
26	27	28	29	30	1 赤口	2 先勝
3 憲法記念日 友引	4 みどりの日 先負	5 こどもの日 仏滅	6 振替休日 大安	7 赤口 野菜の苗植え	8 先勝 花まつり	9 友引
10 先負	11 仏滅	12 大安	13 赤口 検尿	14 先勝	15 友引	16 先負
17 仏滅	18 大安 体操教室	19 赤口 避難訓練	20 先勝 身体測定	21 友引	22 先負	23 仏滅
24 大安	25 赤口 誕生会	26 先勝	27 友引	28 先負	29 仏滅	30 大安 ファミリーデー
31 赤口	1	2	3	4	5	6

５月下旬～６月上旬でじゃがいもほりをします

もみじのひと月

入園式

それぞれが進級・入園を迎えた初日。朝は嬉しい気持ちから笑顔で登園する子もいれば、逆に緊張感を持って表情が強張ってしまう子もいました。しかし、友達と接していくうちに緊張感もほぐれたのか、だんだんと笑顔になっていきました。式典も無事に終え、新しい年度のスタートをみんなで迎えることができました。

戸外活動

天気が良い日には戸外あそびを楽しみました。
年下の子の手をとって、一緒に三輪車に乗ったり優しく接する姿がたくさん見られました。その姿を見るとほっこりします。グラウンドにはシロツメクサがたくさん咲いていて、女の子を中心に花冠を作るのが流行っています。指輪や花束を作るのも好きです。また、新しい滑り台は、２～３人が同時に滑ることができるので、とても楽しそうに遊んでいます。善光寺に散歩に行くとしだれ桜が綺麗に咲いていて、まるで桜のトンネルをくぐっているような気分でした。子どもたちも「わぁ！」「めっちゃキレイ！」と口々に感想を言っていました。

室内あそび

新年度が始まり、数日間はたくさんある玩具を色々と試して遊び、なかなか落ち着かない様子でした。それもそのはず、以前と玩具の量も質も各段に上がりました。日が経つにつれ、自分の好きなあそびを見つけ出し、一つに集中して遊ぶ姿が多く見られるようになってきました。LaQ はパーツの量が増えたことで動物や乗り物、ロボットなど作るれる作品の幅がとても広がりました。粘土あそびでは、ももぐみの子は年上の子の真似をしながら、伸ばしたり型抜きをしたりして、うどんや大根など、色々なものに見立てて製作しています。

おにぎり作り

給食の時間に、ラップにふりかけとご飯を敷き、給食の先生に握り方を教わりました。「あつい！」「あったかーい。」と言いながら、それぞれ色々な形に握っていました。自分で作ったものは格別のようで、いただきますをすると一番にパクパクと食べてしまいました。みんな「おいしい！」と笑顔を見せながら一気に食べていました。ちょっとした一品ですが、子どもたちとって一つの食育経験になったと思います。

歓迎遠足

もみじぐみの皆でイス取りゲームをしました。ももぐみはルールが分からないこともあり、１回目は見学、２回目から参加しました。みんな真剣な表情でイスの周りを歩いていました。座れなかった時に悔しくて涙を流す子もいました。その後は園庭で宝探しゲームをしました。園庭の色んな場所に折り紙が隠してあるのを見つけます。これがなかなか難しく、保育者も一緒になって探しました。見つけた時には「あったー！」と大喜びで景品と交換してもらい、景品の中身を楽しみにしていました。お昼はグラウンドにブルーシートを広げ、みんなでお弁当を食べました。いつもと違う雰囲気で、お箸がよく進んでいたと思います。ちょっとしたピクニック気分でおいしくいただくことができました。

さくら・うめのひと月

進級して一か月が経ち、さくらぐみでの生活や環境にも慣れてきたようです。当園後はカバンからおたよりケースとタオルを出して朝の支度を自分でしようとする姿が見られるようになりました。戸外遊びでは新しい滑り台が人気です。自分の思うように登れず、悔しくて助けを求める姿が多かったのですが、諦めずに何度も繰り返し挑戦する子どもたち。少しずつ援助する回数が減り、一人で登ることが出来た時には達成感と喜びと嬉しさから満面の笑みを見せてくれました。散歩に出かけると、シロツメクサ・ナズナなどの春の花に興味を持ち、観察し、触れたり、摘んだり、大切に持ち帰ったあともじっくりと関わっていました。室内では、おもちゃで遊んだり鯉のぼり製作、塗り絵、描画などをして遊びました。
子どもたちが夢中になるものでいっぱいのこの季節。暖かい春の自然に触れ、子どもたちのいろいろな発見を大事に汲み取り、５月も楽しんで過ごしていきたいと思います。

４月初めの子どもたちは不安や戸惑いが表情に出ていたように感じます。今では新しい生活にも慣れ、日に日に笑顔がたくさん見られるようになりました。０歳児・１歳児それぞれの子どもたちが「キャハ」と声を出して笑いかけてくれる姿はとても可愛らしく、逆に元気を貰っています。４月は室内遊びや鯉のぼり製作をしたり、天気が良い日は戸外遊びや散歩に出かけ、ゆっくりのびのびと過ごしました。１歳児さんは戸外遊びが好きなようで、「お外に行こうか！」と声をかけると、自分でかばんから帽子を取り出し、準備をします。室内では『だるまさん』『きんぎょがにげた』の絵本を「読んでー」と持ってきてくれます。０歳児さんは目が合うとニコニコ笑ってくれる姿がたくさん見られます。手足を動かして遊んでみたり、玩具に興味を持って楽しんでいる姿があります。
うめぐみはみんな友達のことが大好きなのでしょう。とても仲良く笑い合いながら過ごしています。

絵本は財産

あいじえんでは今年度から福音館書店の月刊絵本を購読いただくことになりました。
毎月一人一冊ずつ絵本を配るので、一年間で 12 冊の絵本が揃うことになります。0 歳児のうめぐみさんだと卒園までに 72 冊も揃う計算になります。
これは大きな財産といっても良いんじゃないかと思います。
財産というと言いすぎじゃないかと思われるかもしれませんが、ここに 7 冊の絵本があります。それぞれ下部に記した年は初版発刊年です。

1963 年

1966 年

1966 年

1967 年

1969 年

1969 年

どの絵本も皆さんご存じのものばかりのはずです。そしてここに並んだ絵本はどれも、今の子育て世代のお父さんお母さんよりも年上ではないでしょうか。40 年、50 年という時を超えてたくさんの人々に今もなお愛され続ける絵本たちです。もちろん全てあいじえんにもあります。つまり今を生きる子どもたちに、保護者の皆さんが子どもの頃見た・読んだ絵本が伝え続けられているのです。今から発刊されていく絵本も何十年という時を超えて、きっと次の世代に繋がっていくでしょう。だから財産だと言えるのです。

あいじえんの絵本への考え方

絵本は子どもの育ちにおいて、必要なものです。絵本への親しみは、子どもに豊かな情操発達と精神的な安定をもたらします。あいじえんでは絵本環境を充実させることによって、子ども達がたくさんの絵本に出遇えるよう常に心がけています。保育室に絵本棚を配置し、子ども達がいつでも好きな時に手に取って親しめる環境作りをしています。各クラスにおいても保育士による読み聞かせの時間が毎日あります。
そこで、子ども自身が絵本と触れ合うにあたり最も大事にしておかなければならないことは、子どもが自分自身で見る・読むのではなく、大人から読み聞かせを行うということです。

絵本の読み聞かせは子育てをするにおいて多くのメリットがあり、大きくは4つあると考えています。

- 大人と子どものコミュニケーションになる
- ことばを覚える
- 感情を豊かにする
- 想像力を養う

子どもは本来色んなことに興味を持ち、面白いことなら他人から言われずともやります。楽しいと感じるならどんどんやります。絵本も同じです。子どもにとって絵本は「面白く、楽しいもの」なのです。だからこそ、大人が絵本を読んでくれることは子どもにとって嬉しいことに他なりません。自分が好きな絵本であれば、これ以上の喜びはないでしょう。だから、絵本は大人が読んであげる本であることが第一です。
絵本は大人と子どもとのつながりを深めます。何かと忙しく慌ただしくしている現代で、読み聞かせは親子の触れ合う貴重な時間を与えてくれます。絵本を読む声は子どもに安心感を与え、信頼関係の形成にも繋がります。
絵本の中には、作者の方々の世界観や工夫、考え抜かれたひとつひとつの言葉が詰まっています。しかも 1 冊 1 冊作者もテーマも違います。多種多様の世界が語られた絵とことばがあります。大人が子どもに絵本を読んであげることは、その読み手の口から発する声で子どもに伝わるということです。つまりそれを聞いている子どもにとって、その読み手の声で、語ってくれた話として伝わるのです。
気持ちを込めて読むだけで、子どもはこちらの方を向いて、一生懸命聞きます。その時こそ、心を開き、耳を傾けて、読み手の言葉そのものを聞いているのです。だからこそ絵本を通じて子どもと触れ合う時間をつくっていただきたいと考えています。

Book
今月の絵本

はなを くんくん

ルース・クラウス 文　マーク・シーモント 絵　木島始 訳　福音館書店

冬の森の中、雪の下で動物たちは冬眠をしています。野ねずみも、くまも、小さなかたつむりも、動物たち虫たち色々な生き物が。するとみんな突然目を覚ましました。はなをくんくんさせています。みんな、はなをくんくんさせながら、雪の中をかけていきます。みんなピタリとまって、笑って、踊りだしました。一体なぜだろう。
福音館書店の代表的な絵本の一つ。冬眠という自然界における現象、それから目覚めた動物たちに起こる小さな喜び。自然の摂理と喜びをやさしく語りかけてくれる。

今月のきゅうしょくメニュー

	こんだて	10時のおやつ	15時のおやつ
1日（金）	ごはん　ひき肉の回鍋肉　マカロニサラダ　りんご	りんご	ミルクもち
2日（土）	わかめラーメン　ヨーグルト和え	棒チーズ	ピザパン
3日（日）	憲法記念日		
4日（月）	みどりの日		
5日（火）	こどもの日		
6日（水）	振替休日		
7日（木）	ごはん　みそおでん　フレーク和え　りんご	棒チーズ	スイートポテト
8日（金）	ごはん　魚のタルタルソース　和風サラダ	りんご	ババロア　せんべい
9日（土）	和風スパゲッティ　ヨーグルト和え	バナナ	どら焼き
10日（日）			
11日（月）	ごはん　魚のチリソースかけ　ほうれん草のごま和え	ふかし芋	お好み焼き
12日（火）	ごはん　肉じゃがカレー風味　ごま甘酢和え	ビスケット	りんごケーキ
13日（水）	ごはん　肉野菜炒め　ナムル風煮びたし　りんご	せんべい	バナナ　ビスケット
14日（木）	ごはん　魚の照焼き　南瓜サラダ　中華スープ	バナナ	さつま芋ケーキ
15日（金）	ごはん　大豆の五目煮　ちくわの磯部揚げ　キャベツ	棒チーズ	ハイミックス
16日（土）	肉うどん　フルーツポンチ	ビスケット	あんパン
17日（日）			
18日（月）	ごはん　洋風かき揚げ　シーチキンサラダ	せんべい	人参ケーキ
19日（火）	ポークカレー　フレンチサラダ　りんご	りんご	ハイミックス
20日（水）	ごはん　焼き魚　中華炒め　みそ汁	バナナ	クッキー
21日（木）	ごはん　鶏肉の揚げ煮　ごまサラダ　こふき芋	ビスケット	ババロア　せんべい
22日（金）	ごはん　松風焼き　山吹和え　オレンジ	りんご	さつま芋天ぷら
23日（土）	ナポリタン　ヨーグルト和え	ふかし芋	卵サンド
24日（日）			
25日（月）	ごはん　チキンカツ　ほうれん草の生姜醤油和え　キャベツ	バナナ	りんごケーキ
26日（火）	ごはん　スパニッシュオムレツ　切干大根の煮付け　キャベツ	りんご	南瓜蒸しパン
27日（水）	ごはん　炒り豆腐　ポテトサラダ	ビスケット	バナナ　ビスケット
28日（木）	ごはん　魚のごまフライ　マカロニサラダ　ブロッコリー	ふかし芋	りんご　せんべい
29日（金）	ごはん　麻婆豆腐　野菜のマヨみそ和え　りんご	せんべい	安倍川マカロニ
30日（土）	親子うどん　フルーツヨーグルト和え	りんご	ベジたべる
31日（日）			

Issued on April 30, 2020

SHAKAIFUKUSHIHOUJIN CHIHIROKAI HIGASHIYAMA AIJIEN

ひがしやまあいじえん

幼保連携型認定こども園　社会福祉法人　千広会　ひがしやまあいじえん
835-0002　福岡県みやま市瀬高町小田 2215-5
TEL 0944-63-7519　FAX 0944-63-5734　web h-aijien.net